

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課		部課コード	050300	TEL	2998-9370
事業コード	050309	環境推進員連絡協議会補助金		環境クリーン部 生活環境課			
補助開始年度	平成 8 年度	→	終了予定年度	平成 年度	グループ	環境活動庶務	

②事業の内容	根拠法令	所沢市環境推進員設置要綱							
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画							
	関連・類似事業	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	4 生活環境・環境衛生の向上	小柱	(4) 環境推進員活動への支援
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	1231 市民組織の自立支援			コード				
	補助開始の背景	平成8年3月に「所沢市環境基本条例」が制定されたことに伴い、地球規模での環境保全を視野に入れ、地域での環境推進活動を推進するために、これまであった「衛生委員制度」を見直し、同年4月に「環境推進員制度」が発足した。							
	補助の目的	ごみ減量・リサイクルの推進、地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する関心と理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を確保する。						団体への加盟数	
	団体における実施事業の概要	1「環境美化の日」一斉美化活動への参加と地域住民への呼びかけ 2 地域の環境美化活動の実施 3 ごみ集積所の適正管理 4 ごみ減量及びリサイクルの推進 5 不法投棄の未然防止						単位	

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		15,064	15,064	15,196
	補助額決算(見込み含む)		14,320	14,284	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		1.40 人	1.20 人	
	事業費合計		27,200	25,557	
	市民一人当たり(単位:円)		80.5	75.4	

④指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
標	団体活動実績	事業参加延人数	人	5801	6223	6316	
	成果分析	一人当たりの活動回数	事業参加延人数÷委嘱人数	目標値 6	実績 5.7	6	5.75
			%	達成率 95.0	95.8	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	

⑤一	補助金の有効性	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い <input type="checkbox"/> ある程度貢献している <input type="checkbox"/> 貢献度は低い			
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い <input type="checkbox"/> ある程度達成している <input type="checkbox"/> 達成度は低い			
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い <input type="checkbox"/> ある程度自主的である <input type="checkbox"/> 自主性は低い			
		事業費に占める補助金の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 81%以上 <input type="checkbox"/> 61%~80% <input type="checkbox"/> 41%~60% <input type="checkbox"/> 21%~40% <input type="checkbox"/> 20%以下			
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい			
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する <input type="checkbox"/> 減少する <input type="checkbox"/> 変わらない			
次	H 20 目標設定	①全地区の環境推進員の活動に関し、市と団体間の連絡調整や協力依頼等の窓口の事務を行う。	達成水準	適正な事務手続とともに、必要な連絡調整等を行う。		年間を通じて。
		②所沢市環境推進員連絡協議会、並木地区環境推進員協議会の事務局を兼務しており、役員会・理事会、行事等の事務処理に当たる。				
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 終了				
	上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	市の環境政策と連携した活動、各地区の特性に合わせた自主的な活動を発展させ、また、地球温暖化防止活動や各種啓発キャンペーン等を推進するため、推進員の果たす役割と範囲は年々広がっており、補助金については現状維持としたい。				
	評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	生活環境課長 荒木 純夫		

⑥二次評価	次年度見込まれる貢献度	部内優先順位... 8 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	環境推進員の活動は地域の環境保全を図る効果があり、その活動をサポートするには、本事業は有効であることから「引き続き実施」と評価した。						

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	422
	施策の体系	4-2参加と協働の推進	施策の方向	4-2-2参加と協働の仕組みづくり
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			